

南平に「新しい市民農園」 つくりませんか!?

交流の場になる!?

無農薬で!?

みんなで育てる!



どんな農園つくりたい!? ワークショップ

2025年春、南平市民農園は新しい運営方法に変わります!
交流型の農園について学び、
新しい農園について参加者みんなで考えるワークショップです。

8.17(土)

14:00~16:30

南平体育館 会議室

交流型の農園について知ろう!

9.1(日)

10:00~12:30

せせらぎ農園

交流型の農園を体験しよう!

10.27(日)

10:00~12:30

南平体育館(予定)

南平での活動について考えよう!

11.16(土)

10:00~12:30

南平体育館(予定)

来年の計画を立てよう!

4回連続 参加者募集! 参加無料 定員10名
(全ての回に参加できなくてもOKです!)

お問い合わせ・お申し込み:

一般社団法人TUKURU hinotukuru@gmail.com

メールでお申込みの際には、①氏名(ふりがな)、②お電話、③ご住所をご記載ください。

日野市委託事業(日野市産業スポーツ部都市農業振興課)



こちらからお申し込みいただけます。

2025年春

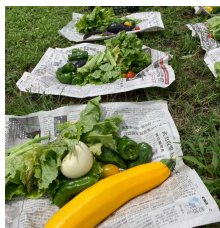
リニューアルする南平市民農園を

みんなで育て、学びあう

交流型の農園に！

子どもも大人も一緒に

みんなの思いをカタチにしましょう!!



欧米で広がるコミュニティガーデン

コミュニティガーデンは「地域みんなの庭」です。家庭菜園や利用者ごとに区画割りされた農園とはちがって、参加者みんなで協力して土をつくり、野菜を育て、収穫も分かち合います。花壇をつくって季節折々の花も育てれば、参加者だけでなく、近隣の方たちも楽しむことができます。

欧米では、こうしたコミュニティガーデンが都市のあちこちにあります。その目的は、子どもたちの学習、食育、高齢者の生きがい、障がい者の福祉、雇用、食の生産、異文化交流などさまざまで、地域の課題を改善する活動として注目されています。

最近では日本でも、都市の空きスペースを利用したアーバンファーマーミングという都市型農園が広がりはじめています。

リジェネラティブな地域内循環を！

日野市にあるコミュニティガーデンでは、農薬や化学肥料は使っていません。家庭から出る生ごみや落ち葉、雑草などを使って土づくりをしています。さらに、竹林を整備して出た竹材からつくる竹チップを活用したり、日野市の養鶏場から取れた完熟鶏糞を使うなど、地域内で循環する環境再生型の街づくりをめざしています。

● ワークショップ・アドバイザー



木村 智子 さん
(コミュニティガーデンコーディネーター)
まちや公園、各種施設などで「関わる人が自ら楽しみながらコミュニティを育む場」の実現をサポート。近年は、猛暑対策と生物多様性の観点から多年草を使ったガーデンづくりを広めることに力を入れています。

有限会社スマイルプラス代表取締役



牧野 ふみよ さん
主に公共の場で、人が関わる花と緑の活動を始めたり、楽しく続けたりするためのお手伝いをしています。

NPO法人 大田・花とみどりのまちづくり事務局長
NPO法人 GreenWorks 代表

一般社団法人TUKURUとは

日野市内でも少なくなっていく農地を守り、誰もが気軽に「農のある暮らし」を楽しむことができれば…！そんな思いから市民が集まり「農のある暮らしづくり協議会」を2018年に設立。勉強会を重ねながら作成し提案した計画書が、2021年5月、日野市まちづくり条例に基づき「農のある暮らしづくり計画」として決定されました。この計画の推進組織として2020年3月に設立されたのが一般社団法人TUKURUです。